

花EXPO:「異色の美」続々 メッセージも直接プリント



花びらにメッセージや写真をあしらった「フラワープリント」

もっと見たい方は「写真」をクリック！

◇枯れても消えない

一方、“異色”の技術が目立ったのが「フラワープリンター」。花びらの面に「誕生日おめでとう」「愛してる」など希望の文字やイラストを入れる機械だ。専用のソフトをダウンロードしたパソコンにつなぎ、自由に文字や絵を入力した後、機械に花を入れると印刷スタート。ものの数分で花びらの表面に印字される。事前に花びらを保護するようコーティングを施すので、花が枯れても文字だけはくっきり残るといふ。本体とインク、専用ソフトを含め約50万円、リースも可能だ。

「フラワープリンター」を取り扱う会社では、一度手元に置けば、後は取り替え用のインク代のみで、ランニングコストは低いとする。商店や飲食店の販促ツールや、ブライダル、誕生日などの祝いの席にも活用でき、アイデア次第でさまざまな分野で使うことができるとPR。会場では「結婚してください」とプリントした花を見た女性が、「花束の中にさりげなくこれが入っていたら最高」と語るなど、特に女性たちに人気の商品だった。【江刺弘子】

【関連リンク】

国際フラワーEXPO IFEX(アイフェックス)2007

<http://www.ifex.jp/>

【関連記事】[【関連写真特集】花EXPO:ケニアの青紫バラ、仏のシクラメン…国際色豊かに](#)

2007年10月12日

